国会事項

衆議院

臨時国会召集要求書送付

十月八日、議員あべ俊子外百四十三名から、内閣総理大臣鳩山由紀夫宛の次のとおりの臨時国会召集要求書を受領したので、即日、横路議長から、内閣に送付した。

臨時国会召集要求書

総選挙から長期間が経過するなか、立法府は先の特別国会で「院の構成」を整えたのみで、いまだ鳩山内閣の所信を聴くに至っていない。米国における国連総会や金融サミットにおいて重要な政策に言及しておきながら、国会の場で表明の機会が持たれていないのは遺憾である。よって鳩山内閣は、新しく発足した連立政権の方向性をすみやかに示し、国民の前に堂々と論戦を繰り広げるためにも、一日も早く臨時国会を召集すべきである。

内外に喫緊の諸課題が山積しているいま、鳩山内閣の責務は極めて重く、国会は国権の最高機関としての使命を積極的に果たさなければならない。以上申し述べた理由から、日本国憲法第五十三条に基づき、自由民主党、公明党、みんなの党はすみやかに臨時国会を召集するよう強く求めるものである。鳩山内閣は真摯に対応されるよう重ねて要請する。

平成二十一年十月八日

あべ俊子外百四十三名

代表者　谷垣　禎一

井上　義久

渡辺　喜美

内閣総理大臣　鳩山由紀夫殿

あべ俊子外百四十三名連名

臨時国会召集要求書送付通知

十月八日、鬼塚本院事務総長から、小幡参議院事務総長宛、本院議員あべ俊子外百四十三名から臨時国会召集要求書が提出され、即日、内閣に送付した旨通知した。

参議院

臨時国会召集要求書送付

十月八日議長は、議員愛知治郎外百五名から内閣総理大臣宛の次の臨時国会召集要求書が提出されたのでこれを内閣に送付した。

臨時国会召集要求書

総選挙から長期間が経過するなか、立法府は先の特別国会で「院の構成」を整えたのみで、いまだ鳩山内閣の所信を聴くに至っていない。米国における国連総会や金融サミットにおいて重要な政策に言及しておきながら、国会の場で表明の機会が持たれていないのは遺憾である。よって鳩山内閣は、新しく発足した連立政権の方向性をすみやかに示し、国民の前に堂々と論戦を繰り広げるためにも、一日も早く臨時国会を召集するよう強く求めるものである。鳩山内閣は真摯に対応されるよう重ねて要請する。

平成二十一年十月八日

愛知治郎外百五名

代表者　尾辻　秀久

白浜　一良

内閣総理大臣　鳩山由紀夫殿

愛知治郎外百五名連名

臨時国会召集要求書送付通知

十月八日本院事務総長から衆議院事務総長宛、本院議員愛知治郎外百五名から臨時国会召集要求書が提出されこれを内閣に送付した旨通知した。

人事異動

宮内庁

（式部副長）式部官　肥塚　隆

式部官長事務代理を命ずる（十月八日）

財務省

（大臣官房付）財務事務官　大川　浩

大臣官房審議官を命ずる（十月八日）

文部科学省

大臣官房人事課人事企画官　堀内　義規

研究開発局海洋地球課長に任命する（十月六日）

防衛省

（統合幕僚学校総務課）一等海佐　矢儀　和哉

統合幕僚学校総務課企画室長を命ずる

（海上幕僚監部指揮通信情報部付）同　小俵　和之

海上幕僚監部総務部総務課渉外班長を命ずる

（同）同　中村　敏弘

海上幕僚監部指揮通信情報部情報課勤務を命ずる

（下総教育航空群司令部幕僚）同　浮田　隆

第九一航空隊司令を命ずる

（第九一航空隊司令）同　植松　則彦

徳島航空基地隊司令を命ずる

（九州防衛局長崎防衛支局次長）同　大野　慶二

横須賀地方総監部勤務を命ずる

（海上自衛隊艦船補給処管理部長）同　石躍　孝一

大湊造修補給所副所長を命ずる

（海上自衛隊幹部候補生学校主任教官）同　西川　文敏

下総教育航空群司令部幕僚を命ずる

（徳島航空基地隊司令）同　安達　公夫

海上自衛隊東京業務隊付を命ずる

（大湊造修補給所副所長）同　高見沢　敦

海上自衛隊第四術科学校教育第二部長を命ずる

（海上幕僚監部首席会計監査官付会計監査官）同　荒井　雅樹

海上自衛隊艦船補給処管理部長を命ずる

（呉造修補給所貯油所長）同　千々和　健

海上自衛隊艦船補給処計画部長を命ずる

（海上自衛隊艦船補給処計画部長）同　小西　實昭

海上自衛隊艦船補給処付を命ずる

（航空自衛隊幹部学校付）一等空佐　安藤　忠司

航空幕僚監部人事教育部補任課人事第1班長を命ずる

（航空幕僚監部人事教育部補任課人事第1班長）同　引田　淳

航空幕僚監部防衛部防衛課付を命ずる

（統合幕僚学校総務課企画室長）一等海佐　佐藤　信彦

九州防衛局長崎防衛支局次長を命ずる（以上九月一日）

（陸上幕僚監部防衛部防衛課）一等陸佐　五十嵐　淳

陸上自衛隊幹部学校付を命ずる（九月四日）

（自衛隊群馬地方協力本部長）一等陸佐　浦野　重之

陸上自衛隊研究本部主任研究開発官を命ずる（九月十六日）

（自衛隊中央病院副院長兼企画室長）陸将　小林　秀紀

自衛隊法第四五条第三項の規定により平成二十二年三月十九日まで引き続き任用する（九月二十日）

（第三護衛隊司令）一等海佐　真鍋　浩司

統合幕僚監部運用部運用第一課運用調整官を命ずる

（海上幕僚監部指揮通信情報部情報課情報班長）同　森　浩

海上幕僚監部指揮通信情報部情報課情報運用室長を命ずる

（海上幕僚監部指揮通信情報部情報課）同　中村　敏弘

海上幕僚監部指揮通信情報部情報課情報班長を命ずる

（海上幕僚監部首席衛生官付衛生官（医務担当））同　村上　健彦

兼ねて海上幕僚監部首席衛生官付衛生官（歯科担当）を命ずる

（護衛艦隊司令部）同　下平　拓哉

第一護衛隊群司令部幕僚を命ずる

（護衛艦隊司令部幕僚）同　豊住　太

第二護衛隊群司令部幕僚を命ずる

（かしま艦長）同　黒松　久

海上訓練指導隊群司令部勤務を命ずる

（海上幕僚監部指揮通信情報部情報課運用室長）同　三船　忍

第三護衛隊司令を命ずる

（統合幕僚監部運用部運用第一課運用調整官）同　南　孝宜

第六護衛隊司令を命ずる

（第二護衛隊群司令部幕僚）同　池田　徳重

しらね艦長を命ずる

（しらね艦長）同　中尾　博孝

かしま艦長を命ずる

（中央システム通信隊司令）同　小野山典文

横須賀地方総監部付を命ずる

（第六護衛隊司令）同　小野寺　功

中央システム通信隊司令を命ずる

（呉地方総監部付）同　熊谷　公夫

海上自衛隊幹部学校研究部図演装置運用課計画指導班長を命ずる